

後作物への農薬残留を検討

ほ場の効率的な運営のため、葉菜類は連作する事例が多く、栽培期間が短い場合、前作物に使用した農薬が後作物に残留する可能性が懸念されています。

このため、当研究所では環境省の委託試験として、後作物における農薬の残留実態を把握するため、前作物(九条ネギ)栽培時に農薬を使用し、後作物(コマツナ、ミズナ、ハタケナ)を栽培しています。

今後、後作物収穫時に後作物及び土壌について、前作物に使用した農薬の残留実態を調査する予定です。

前作物ネギ農薬散布



後作物

(右：ミズナ、中央：コマツナ、
左：ハタケナ)

奥

前作物収穫後、不耕起にて栽培

手前

前作物収穫後、耕起して栽培